

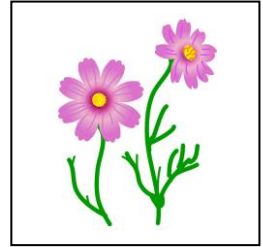


令和3年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 沼田 留美子
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



10月（神無月）

小さい幸せ

校長 沼田 留美子

ある日の中休み、日課の校庭散歩に出かけました。澄みきった青い空のもと、子どもたちが元気に遊んでいます。ふと目をやると、旧校舎の雨どいにアサガオがピンク色の大きな花を咲かせているのを見つけました。1年生のアサガオの種が偶然排水溝に落ち、屋上から流れるわずかな雨水を頼りに、花開いたのでしょう。素敵な支柱はないけれど、つるを精いっぱい壁や地面に伸ばしていました。

また別の時には、正門の横の花壇に敷いていた雑草除けのビニールシートを技術員がはがしてみると、そこには黄緑色の若い葉を抱えた細い木が地面から伸びていました。「クスノキ」だそうです。よくよくたどってみるともともとは大きな木だったようで、切り株がうまっていました。その切り株から「ひこばえ」として生えてきたようです。

ふと、「置かれた場所で咲きなさい」という言葉が浮かんできました。ラインホルド・ニーバーさんが書いた詩の一説です。

「置かれた場所で咲きなさい。

仕方ないとあきらめるのではなく、人生の最善を尽くし、花のように咲くことです。

咲くことは、幸せに生きることです。」

うまくいかないこと、つらいこと、悲しいこと、苦しいこと、不満なこと、いろいろなことがあるでしょう。そういうときでも、花を咲かせようとしていれば、根は見えないところで、ぐんぐん成長していくのです。

分散登校が続いた9月。10月になり緊急事態宣言もようやく解除され、7月以来の全員登校です。2か月ぶりに会う人もいるのではないのでしょうか。たくさんの笑顔が教室にあふれています。さて、先ほどの詩には続きがあります。

「あなたが幸せで、それをあなたが笑顔で示せば、

他の人もそれがわかり、幸せになります。」

困難な状況は、まだ続くかもしれません。しかし、あきらめず、最善を尽くすこと、幸せを見つけることは自分でもできることです。幸せは周りの人の幸せにもつながります。どんぐりを嬉しそうに見せてくれた子がいました。身近な幸せが見つかる秋の訪れです。